

独立行政法人国際観光振興機構の 京都移転の提案

平成27年8月

京都府

京都市

国際観光振興機構移転の意義

我が国の課題

- ・人口減少・少子高齢化の中、地方において需要を生み出し雇用を創出することは喫緊の課題
- ・観光は、海外からの旺盛なインバウンド需要の取り込みによって交流人口を拡大させ、地域を活性化させる原動力

現状

- ・訪日外国人観光対応の実施部門を担うJNTOの現場は、海外事務所が中心であり、我が国の文化・観光資源に対する深い理解を育む場が少ない
- ・現場における訪日外国人対応は、自治体等が主体にならざるを得ず、近隣都市間の連携等には課題を抱える

国際観光振興機構(JNTO)の移転

※昭和39年から平成16年まで、西日本における広域観光案内業務を行う拠点として、JNTO京都案内所が京都タワービルに設置

JNTOの機能向上

- ・国内との事業連携において、効率的・効果的な事業遂行が可能に
- ・現場の文化や地域性等の背景も含めた観光商品等へのきめ細かな理解に基づく事業遂行が可能に

「観光立国」の実現

訪日外国人客数2000万人

京都は、日本の貴重な財産と言える多くの自然・景観・文化を擁する「歴史都市」

優れた伝統産業を基盤に
先端産業が栄える
ものづくり都市

1200年にわたる歴史を
積み重ねてきた
世界有数の歴史都市

文化・芸能の伝承とともに
新たな創造を続ける
文化芸術都市、宗教都市

京都の観光 の多様性

多様な自然と
豊かな農林水産品に恵まれた
五感で楽しめる観光拠点

大学のまち・学生のまち・研究のまち
学術・研究都市

「日本の心のふるさと」として
8000万人の観光客が訪れる
国際観光拠点



祇園祭
(出典)京都市観光協会HP



東寺
(出典)京都市HP



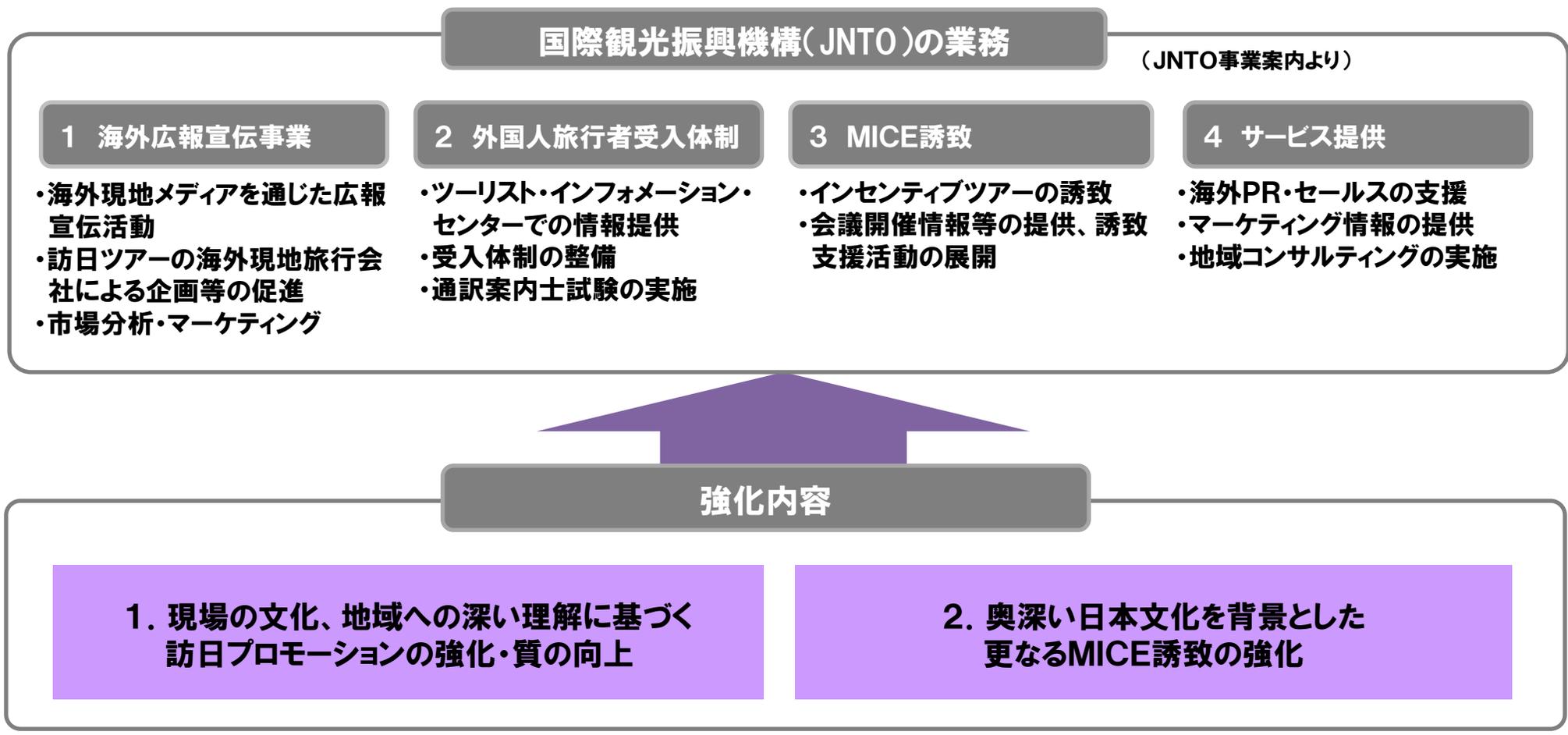
京都大学
(出典)京都大学提供



茶道
(出典)京都市観光協会HP

国際観光振興機構移転の効果

○京都移転の実現により、国際観光振興機構の事業である、海外広報宣伝(訪日プロモーション)、MICE誘致の機能を強化



移転効果①現場の文化、地域への深い理解に基づく訪日プロモーションの強化・質の向上

○京都は、国際的な観光都市であると同時に、MICE誘致、広域観光等の地域観光にも取り組むなど多様な現場ニーズを抱える
 ○京都移転により、様々な現場のニーズに合致した訪日プロモーション事業展開が可能に

国際的な観光都市

○海外からの高い評価

トラベル&レジャー誌において、2年連続ワールドベストシティに



○先進的な観光戦略

宿泊施設等を対象とした24時間多言語コールセンターを滋賀県、大津市、奈良市とともに実施

トリップアドバイザー社と連携しトリップグラフィックス「京都のトリセツ」や守ってほしいマナーを書いた「京都のあきまへん」を作成



日本を代表するMICE都市

○日本を代表するコンベンション都市

- ・日本初となる世界博物館大会の開催(H31秋)
- ・京都大学、国立京都国際会館などの大規模会場
- ・観光庁のグローバルMICE戦略・強化都市に認定(H25.6)

国際会議の開催実績

〈京都〉	H26
開催件数	203件
総参加者数	128,173人
海外参加者数	16,567人



国立京都国際会館
 (出典)公財)国立京都国際会館HP

○「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」の京都開催(H28.10)

開催予定地
 ロームシアター京都
 (H28.1完成予定)

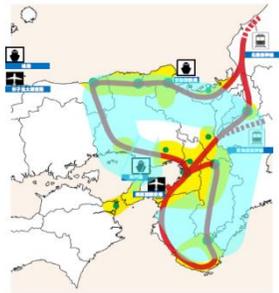


(出典)ロームシアター京都HP

地域観光への取組

京都府・京都市は、関西広域連合における広域観光・文化振興を担うなど、広域観光に取組み

『美の伝説』
 「日本の美に出会う 5つの世界遺産と7つの絶景」が観光庁の「広域観光周遊ルート形成計画」に認証



広域観光周遊ルート
 「美の伝説」対象地域

広域観光拠点地区 主要広域観光ルート 広域観光促進地域 主要ゲートウェイ施設

移転効果②奥深い日本文化を背景とした更なるMICE誘致の強化

○京都は、海外発信の基盤と実績とともに、豊かな文化資源を有する
 ○ほんものの日本文化・観光資源を背景として、我が国への更なるMICE誘致が可能に

関西・京都の文化の蓄積

ほんものの日本文化の存在

- 京都御所、京都迎賓館をはじめとして、皇室文化を含むほんものの日本の伝統文化に触れることが可能
- 伝統文化・伝統芸能の家元等
 - 茶の文化：表千家、裏千家、武者小路千家、藪内流、煎茶道各流派 など
 - 華道：華道家元池坊をはじめ、25流派以上
 - 能：観世流片山家、金剛流宗家
 - 狂言：大蔵流茂山千五郎家、同茂山忠三郎家
 - 日本舞踊：京舞井上流家元 など



京都御所
 (出典)宮内庁HP

関西・京都に集積する文化資源

○国宝の約5割、重要文化財の約4割は関西に集中
 (建造物に限れば、国宝の約7割、重文の約4割が集中)



二条城
 (出典)京都市HP



上賀茂神社
 (出典)京都市観光協会HP

○ユネスコ世界文化遺産

関西 5件 (国内 15件)	法隆寺地域の仏教建造物 (奈良)
	姫路城 (兵庫)
	古都京都の文化財 (京都、滋賀)
	古都奈良の文化財 (奈良)
	紀伊山地の霊場と参詣道 (和歌山)

○ユネスコ世界無形文化遺産

- ・京都祇園祭の山鉾行事
- ・和食：日本人の伝統的な食文化



MICE誘致のポテンシャル

MICE誘致条件等

- 国立京都国際会館において、将来の更なる拡充を見据えた2,500人規模の新ホールを整備
- 関西国際空港には、成田の2倍のLCC国際線旅客便が発着(各空港HP等)



(出典)国土交通省近畿地方整備局資料

MICE開催実績

- 観光庁のグローバルMICE戦略・強化都市に認定(H25.6)
 (関西では、京都・大阪・神戸の3都市が認定)
- 2019年には、世界博物館大会が日本で初めて京都で開催決定

高度な知の集積

- 国際会議の主要な誘致拠点組織となる京都大学や関西文化学術研究都市に立地する様々な研究所等、高度な知が集積

誘致のための条件整備

○施設整備は、京都市内の土地・オフィス等から候補地を決定。職員の住宅確保についても支援
 ○移転支援体制を京都サイドにて整備

施設整備

京都市内の府・市有地や一般的なオフィス等について、国と相談の上、具体的な候補地を決定

職員住宅確保

- 京都市内は公的住宅とともに、民間賃貸住宅が充実しているため、住宅確保は十分可能
 - 特定優良賃貸住宅やUR住宅などの関連住宅のあっせん・紹介とともに、民間空き家について不動産関係団体と連携して情報提供が可能
- <京都市域の空き住戸の状況>
 特優賃：約190戸(H27.3現在)
 U R：約260戸(H27.5現在)

(参考)家賃水準

	居住室の 畳数 (A)	1畳当たり 家賃 (B)	家賃 (A×B)
京都市	15.36畳	3,581円	55,004円
東京都区部	15.32畳	5,470円	83,800円

(出典)総務省「平成25年住宅・土地統計調査」より

(参考)京都の住環境

- 生活の中に息づく文化
 - ・ユネスコ無形文化遺産の「京都祇園祭の山鉾行事」、「和食：日本人の伝統的な食文化」など精神性や季節感などの伝統を大切にする土壌
 - ・全府立高校、全市立小中校で、茶道、華道、和装等の伝統文化体験事業を実施するなどの文化教育を推進

○世界遺産等の文化財が身近な街



祇園祭



上賀茂神社

(出典)京都市観光協会HP

○おばんざいなど京都の豊かな食文化

京都での移転支援体制の整備

- 京都サイドで、移転支援体制を整備
- 国に対し、施設移転、職員移転に係る可能な支援を実施